

報道関係者各位

発行 No.71043

2023 年 6 月 14 日

株式会社東陽テクニカ

ブレイズメーター
SaaS 型継続的テストプラットフォーム「BlazeMeter」販売開始
～200 万人以上の仮想ユーザーによる高負荷なテスト環境を容易に実現～

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野^{こうの} 俊也^{としや}、以下 東陽テクニカ)は、米国・Perforce Software 社製の SaaS 型継続的テストプラットフォーム「BlazeMeter^{ブレイズメーター}」の日本での販売を 2023 年 6 月 14 日に開始いたします。

「BlazeMeter」はブラウザひとつで、200 万人以上の仮想ユーザーや最大 56 地点の地理的ロケーションを設定した大規模な負荷テストの実施を可能にします。負荷をかけた状態での機能テストや API テストの実施も可能で、テストで使用するデータの仮想化、テスト結果の分析など、Web システムのパフォーマンスを多角的かつ継続的に測るうえで必要な機能を提供します。



「BlazeMeter」が提供する 5 つの機能

【背景／概要】

昨今、情報通信技術(ICT)の高度化に伴い、電子商取引(EC)サービスはもちろんのこと、動画配信サービスやインターネットバンキングなど、さまざまなサービス、ビジネスが活発化しています。利用者の増加とともに、特定の Web サイトに想定以上のアクセスが集中することでシステムダウンや通信遅延などのシステム障害も多発しています。企業や団体は、提供するサービスを保証するために、Web システムが急激な負荷の増減や長時間の負荷にどこまで耐えられるのかを事前に正確に把握し、対策を講じておく必要があります。そのため、JMeterTM※1をはじめとしたオープンソースの負荷テストツールが広く活用されていますが、かけられる負荷が限定的であること、テストのための環境設定や管理が複雑であることが課題となっています。

「BlazeMeter」は、JMeterTMなどのオープンソースや他の有償の負荷テストツールで作成したテストシナリオをそのまま利用して、200 万人を超えるユーザーが世界 56 地点から同時にアクセスするような、超高負荷な状態を仮想的に作り上げ、その負荷の下での Web システムのパフォーマンス測定を実現します。テスト条件の設定が容易で、コードレスでテストシナリオを作成することもできるため、使用にあたり手間はかかりません。テスト実施中に結果を確認しながらの条件変更や調整も可能です。クラウド上でテスト環境を完結できるため、必要に応じたテスト

をいつでも迅速かつ低コストで実施できます。

また、追加機能として、負荷をかけた状態での各機能や API の動きをチェックするための機能テストや API テスト、関連する機能や外部連携サービスを仮想的に作り出しシステム全体でのパフォーマンスの把握を可能とするモックサービス機能、すべてのテストで使用可能な仮想ユーザーデータを生成・管理するテストデータマネジメント機能を提供します。

その他、Jenkins^{※2}をはじめとする各種自動化ツールと連携させ、ソフトウェア開発ライフサイクルに組み込むことで、継続的にシステムのパフォーマンスをテストすることが可能です。これにより、予期せぬパフォーマンスの低下やシステム障害を引き起こす可能性のある問題の早期発見に貢献します。これまで海外では、エンターテインメント業界やアパレル業界、飲食業界など幅広い業界のトップ企業に活用されてきました。^{※3}

東陽テクニカは、「BlazeMeter」の国内での提供を通じて、高負荷によるパフォーマンス低下や障害が起こらないよう堅牢な Web システムの開発および運営を支援することで、ICT サービス、ビジネスの発展に貢献してまいります。

※1 Web サービスなどのアプリケーションの負荷テスト（パフォーマンス測定）を行うオープンソースツール

※2 ソフトウェア開発におけるビルドやテスト、デプロイの自動化を支援するオープンソースツール

※3 「See How BlazeMeter Helps Companies Like Yours」<https://www.blazemeter.com/customers>

【主な特長】

・テストの設定や実行が容易：

- JMeterTMで作成したテストシナリオをそのまま実行可能。
- その他の負荷テストツール（Gatling や LOCUST）も Taurus^{※4}経由で実行可能
- コードレスでテストシナリオ作成が可能
- テスト結果をリアルタイムで確認でき、テスト設定の調整が容易
- Selenium^{※5}などのテストフレームワークと連携

・大規模な負荷テストが可能（世界 56 地点、仮想ユーザー 200 万人以上）

・負荷テストと組み合わせた、機能テストや API テストも実行可能

・関連する機能や外部連携サービスを仮想的に作成可能

・テスト用仮想ユーザーデータを作成可能

・Jenkins などの CI/CD ツールと連携

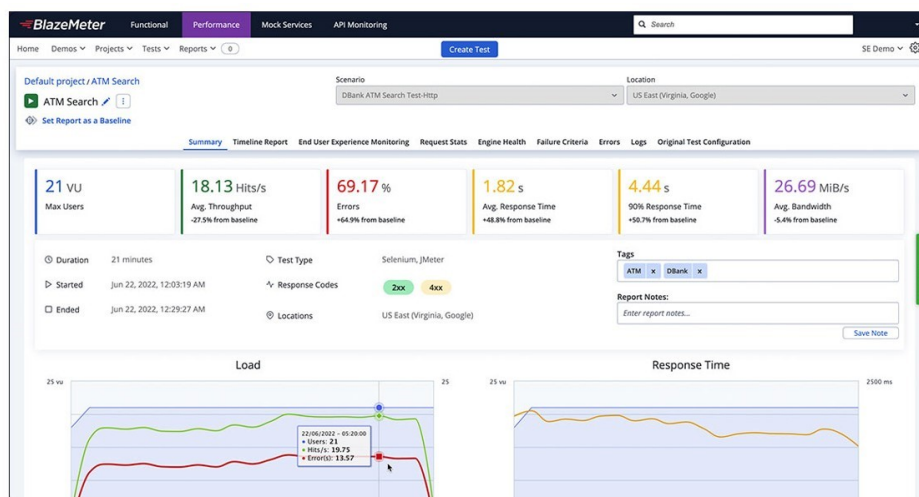
・オンプレミス、ハイブリッドでの利用も可能

◆「BlazeMeter」紹介動画：<https://youtu.be/aGz4yAmOTm4>

◆「BlazeMeter」製品ページ：<https://www.toyo.co.jp/ss/products/detail/blazemeter>

※4 BlazeMeter が公開しているオープンソースのテスト自動化フレームワーク

※5 Web アプリケーションのブラウザ操作を自動化する、オープンソースのテストフレームワーク



「BlazeMeter」解析結果画面

【製品データ】

- ・ 製品名：SaaS型継続的テストプラットフォーム「BlazeMeter」
- ・ 価格：負荷テスト機能単体 338 万円～。(要お見積り)
- ・ 販売開始日：2023 年 6 月 14 日

<Perforce Software Ltd.について>

Perforce Software 社は、1995 年に設立されたソフトウェア開発支援ソリューションのグローバルプロバイダーです。ソースコードの静的解析や脆弱性検出をはじめとするテストツールから、デジタルアセットやプロジェクトの管理ツールまで、ソフトウェアの開発ライフサイクル全般において、開発者を支援するためのソリューションを幅広く提供。同社のソリューションは、フォーチュン 100 企業の 75%が導入し、世界中で 100 万人以上が利用しています。

Perforce Software 社 Web サイト：<https://www.perforce.com/ja>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、1953 年の設立以来、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新に貢献してまいりました。その事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンス、セキュリティなど多岐にわたります。5G 通信の普及、クリーンエネルギーや自動運転車の開発などトレンド分野への最新の技術提供に加え、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力し、国内外で事業を拡大しています。最新ソリューションの提供を通して、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部マーケティング課 武田

TEL：03-3279-0771(代表) / E-mail：marketing_pr@toyo.co.jp

「BlazeMeter」製品ページ：<https://www.toyo.co.jp/ss/products/detail/blazemeter>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。